



2022年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月12日

上場会社名 株式会社メタルアート 上場取引所 東
 コード番号 5644 URL <https://www.metalart.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 友岡 正明
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 武田 正臣 (TEL) 077-563-2111
 四半期報告書提出予定日 2021年11月12日 配当支払開始予定日 2021年12月7日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第2四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期第2四半期 | 15,761 | 35.0 | 1,454 | — | 1,504 | 415.3 | 991 | 448.0 |
| 2021年3月期第2四半期 | 11,676 | △29.1 | 43 | △92.0 | 291 | △48.3 | 181 | △51.2 |

(注) 包括利益 2022年3月期第2四半期 1,198百万円(118.5%) 2021年3月期第2四半期 548百万円(75.5%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2022年3月期第2四半期 | 328.09 | — |
| 2021年3月期第2四半期 | 59.87 | — |

(注) 2021年3月期第2四半期の営業利益の対前年同四半期増減率は100%を超えるため「—」と記載しております。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|--------|--------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2022年3月期第2四半期 | 32,801 | 17,825 | 48.9 |
| 2021年3月期 | 31,123 | 16,764 | 48.5 |

(参考) 自己資本 2022年3月期第2四半期 16,053百万円 2021年3月期 15,092百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2021年3月期 | — | 0.00 | — | 45.00 | 45.00 |
| 2022年3月期 | — | 30.00 | | | |
| 2022年3月期(予想) | | | — | — | — |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2022年3月期の期末配当金額は未定であります。

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|------|-------|------|-------|------|-----------------|------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 33,100 | 17.1 | 2,680 | 52.0 | 2,730 | 31.8 | 1,740 | 27.5 | 575.48 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|------------|------------|------------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2022年3月期2Q | 3,157,382株 | 2021年3月期 | 3,157,382株 |
| ② 期末自己株式数 | 2022年3月期2Q | 133,814株 | 2021年3月期 | 133,814株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2022年3月期2Q | 3,023,568株 | 2021年3月期2Q | 3,023,569株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結実績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |
| (収益認識関係) | 9 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症により依然として厳しい状況が続くなか、政府による感染抑制策や海外経済の改善もあり、持ち直しの動きがみられます。ただ、国内外の市場は、世界的な半導体不足の影響とASEANでのコロナ感染拡大による部品調達難を主要因とした自動車の減産が続き、先行き不透明な状況で推移しました。

このような経営環境のもと当第2四半期連結累計期間の当社グループの売上高は、自動車部門、建設機械部門共に新型コロナウイルス感染症からの回復傾向が強く、国内・ASEAN市場は堅調に推移し増加しました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は157億6千1百万円（前年同四半期比35.0%増）となりました。部門別では、自動車部品は124億2千5百万円（前年同四半期比35.6%増）、建設機械部品は27億円（前年同四半期比37.3%増）、農業機械部品は3億9千2百万円（前年同四半期比100.9%増）、その他部品は2億4千3百万円（前年同四半期比30.4%減）となりました。

損益面におきましては、売上高の増加、グループを挙げての原価低減により、営業利益は14億5千4百万円（前年同四半期は営業利益4千3百万円）、経常利益は15億4百万円（前年同四半期比415.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億9千1百万円（前年同四半期比448.0%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産は、前連結会計年度末に比べ16億7千8百万円増加し、328億1百万円となりました。

資産の部では、流動資産は、現金及び預金が6億2千6百万円減少、売上高の増加に伴い、受取手形及び売掛金が3億9千6百万円減少したものの、電子記録債権が14億2千1百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ15億2千3百万円増加し、201億2千7百万円となり、また固定資産は有形固定資産が1億4千4百万円増加したこと等により前連結会計年度末に比べ1億5千4百万円増加し、126億7千4百万円となりました。

負債の部では、流動負債は、売上高の増加により買掛金が1億7千万円増加、電子記録債務が3億8千7百万円増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ6億6千1百万円増加し、141億2千9百万円となり、固定負債は、前連結会計年度末に比べ4千4百万円減少し、8億4千6百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益9億9千1百万円の計上による増加、剰余金の配当による1億3千6百万円の減少、為替換算調整勘定が1億4百万円の増加等により、前連結会計年度末に比べ10億6千1百万円増加し、178億2千5百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の通期連結業績予想につきましては、2021年8月5日に公表しました数値に変更はございません。なお、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,367 | 7,741 |
| 受取手形及び売掛金 | 4,344 | 3,948 |
| 電子記録債権 | 1,568 | 2,990 |
| 製品 | 282 | 374 |
| 仕掛品 | 1,135 | 1,656 |
| 原材料及び貯蔵品 | 2,284 | 2,682 |
| その他 | 620 | 733 |
| 流動資産合計 | 18,603 | 20,127 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物(純額) | 3,181 | 3,190 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 5,354 | 4,949 |
| 土地 | 2,566 | 2,577 |
| その他(純額) | 657 | 1,185 |
| 有形固定資産合計 | 11,759 | 11,903 |
| 無形固定資産 | 47 | 37 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 155 | 157 |
| その他 | 566 | 585 |
| 貸倒引当金 | △9 | △9 |
| 投資その他の資産合計 | 713 | 733 |
| 固定資産合計 | 12,519 | 12,674 |
| 資産合計 | 31,123 | 32,801 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 2,714 | 2,884 |
| 電子記録債務 | 4,716 | 5,103 |
| 短期借入金 | 3,800 | 3,800 |
| 未払法人税等 | 435 | 475 |
| 賞与引当金 | 457 | 474 |
| 役員賞与引当金 | 33 | 16 |
| その他 | 1,310 | 1,375 |
| 流動負債合計 | 13,467 | 14,129 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 60 | 60 |
| 退職給付に係る負債 | 616 | 631 |
| 役員退職慰労引当金 | 119 | 61 |
| 資産除去債務 | 24 | 23 |
| その他 | 70 | 70 |
| 固定負債合計 | 890 | 846 |
| 負債合計 | 14,358 | 14,975 |

(単位:百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第2四半期連結会計期間 (2021年9月30日) |
|---------------|-------------------------|------------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,143 | 2,143 |
| 資本剰余金 | 1,995 | 1,995 |
| 利益剰余金 | 11,152 | 12,006 |
| 自己株式 | △211 | △211 |
| 株主資本合計 | 15,080 | 15,934 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 52 | 53 |
| 為替換算調整勘定 | △17 | 86 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △22 | △21 |
| その他の包括利益累計額合計 | 12 | 118 |
| 非支配株主持分 | 1,672 | 1,772 |
| 純資産合計 | 16,764 | 17,825 |
| 負債純資産合計 | 31,123 | 32,801 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 11,676 | 15,761 |
| 売上原価 | 10,805 | 13,276 |
| 売上総利益 | 870 | 2,484 |
| 販売費及び一般管理費 | 826 | 1,030 |
| 営業利益 | 43 | 1,454 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 18 | 24 |
| 受取配当金 | 1 | 2 |
| 為替差益 | 37 | 6 |
| 雇用調整助成金 | 173 | — |
| 物品売却益 | 4 | 10 |
| その他 | 24 | 19 |
| 営業外収益合計 | 260 | 62 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6 | 6 |
| その他 | 5 | 5 |
| 営業外費用合計 | 12 | 12 |
| 経常利益 | 291 | 1,504 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 291 | 1,504 |
| 法人税等 | 86 | 456 |
| 四半期純利益 | 205 | 1,047 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 24 | 55 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 181 | 991 |

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 205 | 1,047 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2 | 0 |
| 為替換算調整勘定 | 336 | 149 |
| 退職給付に係る調整額 | 4 | 1 |
| その他の包括利益合計 | 343 | 151 |
| 四半期包括利益 | 548 | 1,198 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 423 | 1,098 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 125 | 100 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) |
|-------------------------|---|---|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益 | 291 | 1,504 |
| 減価償却費 | 666 | 717 |
| 受取利息及び受取配当金 | △19 | △26 |
| 支払利息 | 6 | 6 |
| 為替差損益 (△は益) | 19 | 7 |
| 雇用調整助成金 | △173 | — |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 1,916 | △1,014 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | 93 | △983 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △1,915 | 537 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △7 | 16 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △5 | △17 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 17 | 16 |
| 未収入金の増減額 (△は増加) | 145 | △22 |
| 退職給付に係る資産の増減額 (△は増加) | — | △10 |
| その他 | △363 | △454 |
| 小計 | 671 | 277 |
| 利息及び配当金の受取額 | 19 | 26 |
| 利息の支払額 | △6 | △6 |
| 雇用調整助成金の受取額 | 173 | — |
| 法人税等の支払額 | △82 | △423 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 776 | △125 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △630 | △410 |
| 有形固定資産の売却による収入 | — | 0 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △0 | △0 |
| その他 | △0 | — |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △631 | △411 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 長期借入金の返済による支出 | △32 | — |
| 配当金の支払額 | △59 | △135 |
| リース債務の返済による支出 | △0 | △1 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △92 | △136 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 67 | 47 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 119 | △626 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 4,295 | 8,367 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 4,415 | 7,741 |

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

なお、「収益認識に関する会計の適用指針」第98項に定める代替的な取扱いを適用し、製品の国内販売において、出荷時から顧客への製品移転時までの期間が通常の期間である場合は、出荷時点で収益を認識しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間に期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高への影響も軽微であります。

収益認識会計基準等により、当第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(収益認識関係)」に記載しております。なお、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第2四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(収益認識関係)

当社グループは、鍛工品製造販売を営む単一セグメントであり、顧客との契約から生じる収益を財又はサービスの種類並びに地理的区分により分解した情報は、以下のとおりであります。

(単位：百万円)

| | 当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日) | | | | |
|--------|--|--------|--------|-----|--------|
| | 自動車部品 | 建設機械部品 | 農業機械部品 | その他 | 合計 |
| 日本 | 10,658 | 2,700 | 392 | 243 | 13,994 |
| インドネシア | 1,766 | — | — | — | 1,766 |
| 合計 | 12,425 | 2,700 | 392 | 243 | 15,761 |